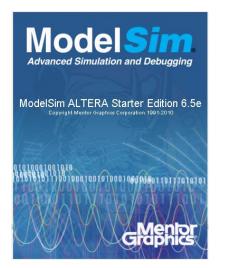
ModelSim 操作方法

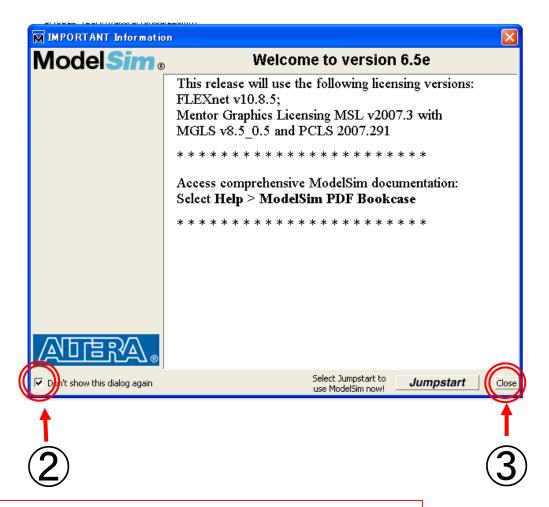
2014.12.10.現在



ModelSim-Altera 6.6c (Quartus II 10.1) Starter Edition

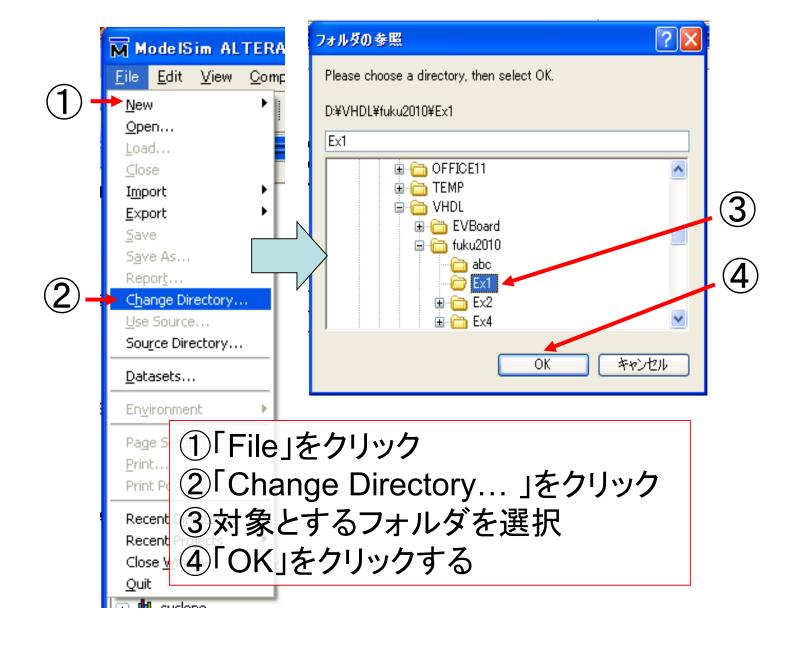


(こんな表示が出るが無視する)

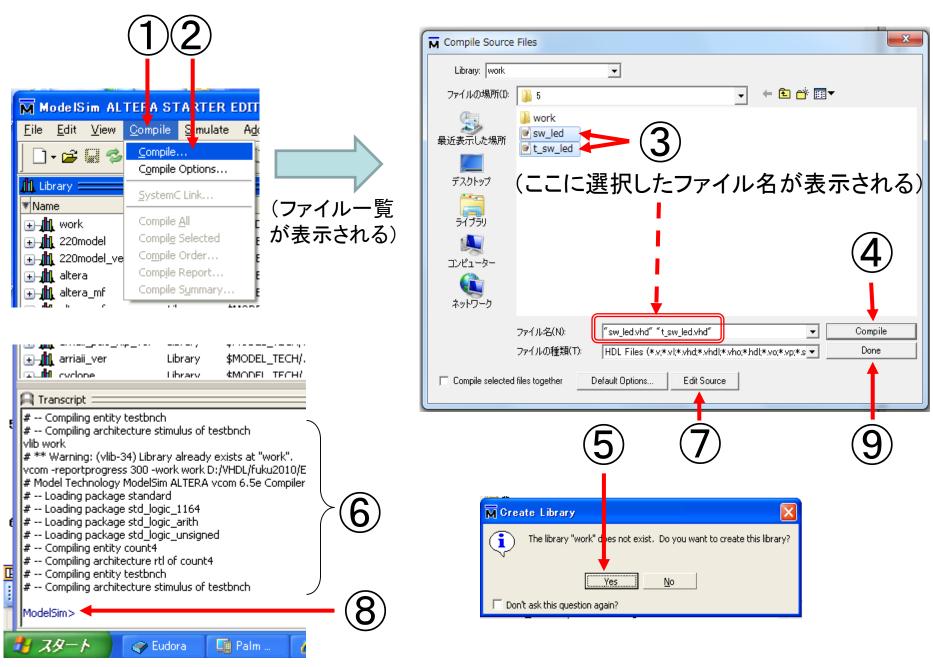


- ①デスクトップにあるアイコンをダブルクリックする
- ②ここをチェックして再び現れないようにする
- ③「Close」をクリック

Web3-1. ModelSimの起動

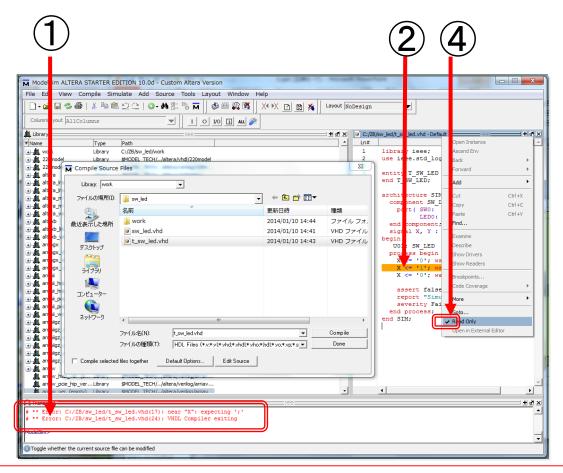


Web3-2. ディレクトリの移動



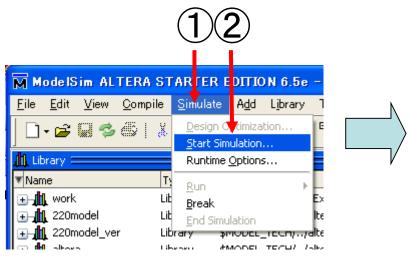
Web3-3. コンパイルの実行 (1/2)

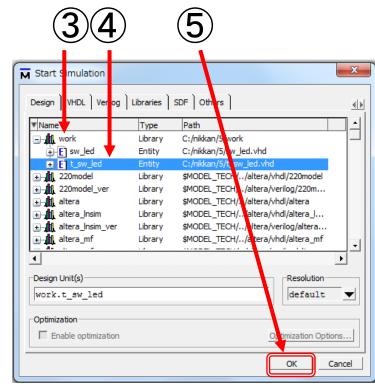
- ①「Compile」をクリック
- ②「Compile…」をクリック
- ③実装回路のファイルとテストベンチのファイルを選択する
- ④「Compile」をクリックする
- ⑤これが表示されたら「Yes」を選択する
- ⑥コンパイル経過が表示される。赤字が出たらエラー
- ⑦ここをクリックして修正, ④へ戻る
- ⑧この青字が出たらOK
- ⑨「Done」をクリック

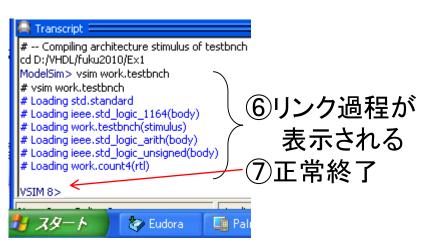


- ①エラ一発生!メッセージをダブルクリック
- ②該当箇所が反転表示される
- ③書換えができない場合, その場で右クリック
- ④このチェックをクリックして消すと書換え可となる

Web3-5. エラー発生時の修正の仕方

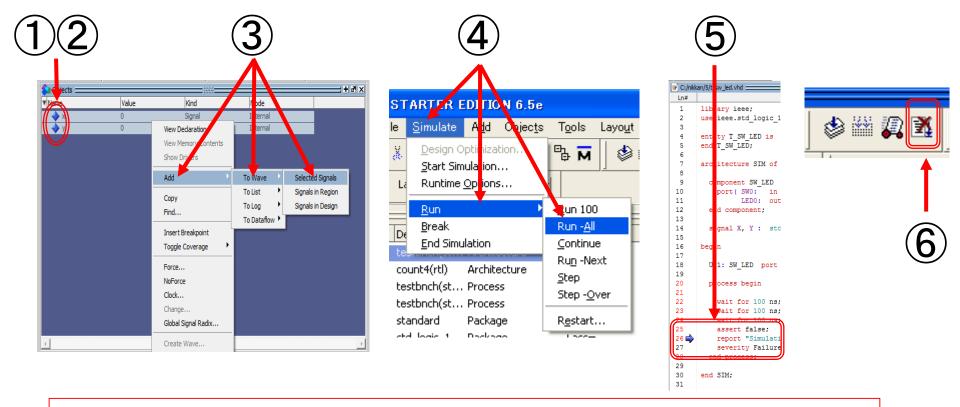






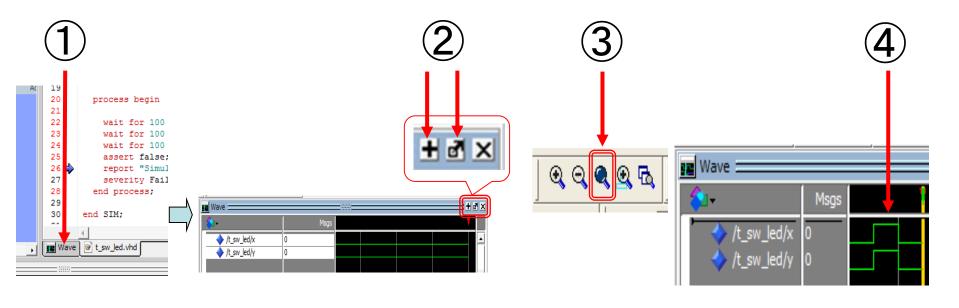
- ①「Simulate」をクリック
- ②「Start Simulation...」を選択
- ⑥リンク過程が ③「work」を探し, 左横にある「十」を 表示される クリック
 - ④テストベンチの名前を選択
 - ⑤「OK」をクリック

Web3-6. リンクの実行



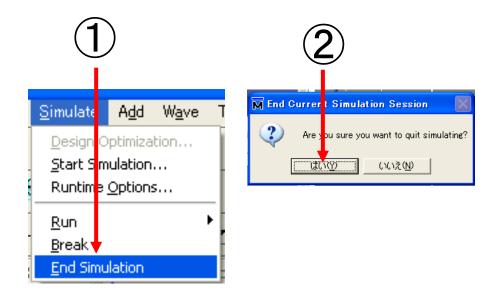
- ①表示したい信号を「Shift」+クリックで選択
- ② その上でマウスを右クリック
- ③「Add」「To Wave」「Selectec Signals」を選択
- ④「Simulate」「Run」「Run-All」を選択
- ⑤assert文で指定したところまでシミュレーションが実行され て停止する
- ⑥停止しない場合は「Break」をクリックして中断する

Web3-7. 信号選択と機能シミュレーションの実行



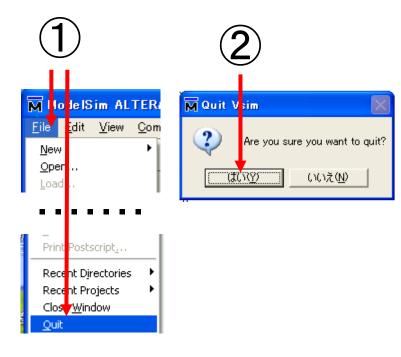
- ①「Wave」を選択
- ②「Zoom」(一番左)をクリック、または「Dock」(中央)をクリックして 別画面とするのもよい
- ③「Zoom Full」をクリックすると全波形が表示される
- ④この波形表示を観測して論理的に正しいかどうかを検証する

Web3-8. 機能シミュレーション結果の表示



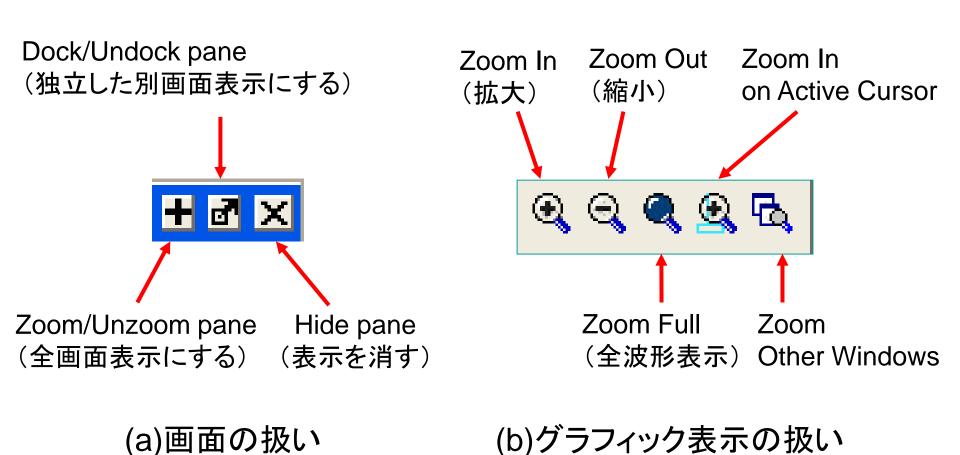
- ①「Simulate」「End Simulate」を選択
- ②「はい」をクリック

(a)シミュレーションの終わり方



- ①「File」「Quit」を選択
- ②「はい」をクリック

(b)ModelSimの終わり方



Web3-10. Waveform pane でよく使用するアイコン